

## 日本多施設共同コホート研究 (J-MICC 研究)

### 2022 年度第 1 回全体会議 (ハイブリッド開催) 議事録

日時：2022 年 6 月 29 日 (水) 13:00 ~ 16:30

対面会場：JR ゲートタワー カンファレンス 会議室 3・4

出席者 (敬称略)：

松尾 恵太郎、若井 建志、成松 宏人、栗木 清典、鈴木 貞夫、伊藤 秀美、菱田 朝陽、喜多 義邦、三浦 克之、小山 晃英、有澤 孝吉、池崎 裕昭、田中 恵太郎、郡山 千早、篠崎 智大、小柳 友理子、永吉 真子、西田 裕一郎、江口 英孝、今枝 奈保美、桃沢 幸秀、碓井 喜明、井上 真奈美、岩崎 基、岡村 智教、寶澤 篤、清水 厚志、大桃 秀樹、小巻 翔平、山崎 弥生、美辺 詩織、今田 恒夫、原田 成、平田 あや、土岐 了大、枝川 竣、中柄 昌弘、中村 翔、渡邊 要、川上 諒子、新村 直子、池上 洋未、菅原 かほる、伊東 葵、川島 晃子、川畑 春佳、橘 拓希、楊 宝怡、樋口 佳那、西山 毅、大谷 隆浩、中川 弘子、砂山 真琴、井本 逸勢、尾瀬 功、川勝 雪乃、柘植 博之、春日井 由美子、川浦 正規、鈴木 緑、西脇 環、篠原 佳美、大野 慶輝、Sibale Daisy Sibongile、佐藤 征子、川口 美都、上林 麻紀、花岡 生久子、高嶋 直敬、原田 亜紀子、宮川 尚子、近藤 慶子、岡見 雪子、北岡 かおり、山田 知子、大橋 瑞紀、尾崎 悦子、富田 仁美、釜野 桜子、石津 将、渡邊 毅、NGUYEN VAN TIEN、中嶋 綾子、原 めぐみ、田ノ上 史郎、指宿 りえ、西本 大策、松山 吏香、Saekhol Bakri、嶽崎 俊郎、松尾 洋孝、中山 昌喜、豊田 優、清水 聖子、河村 優輔、中島 宏、内藤 真理子、西村 瑠美、前原 朝子、浅枝 麻夢可、濱 陽子、山田 幸子、倉脇 由布子、川合 紗世、篠壁 多恵、森田 えみ、近藤 高明、藤井 亮輔、竹内 研時、藤和 太、田村 高志、久保 陽子、岡田 理恵子、玉田 雄大、光田 洋子、寺澤 梨絵、中野 真理子、木村 悦子、澤野 ゆかり、安藤 純子、渡邊 優子、登之内 まゆ子、服部 秀美

計 123 名

他、J-MICC 研究研究報告ならびに「招待講演及び解析例」セッションの一般公開参加者 61 名

1. 主任研究者挨拶
2. 「コホート・生体試料支援プラットフォーム」コホートによるバイオリソース支援活動班長挨拶
3. 中央事務局報告
4. J-MICC研究の現状と展望

#### 以下、一般公開部分

##### 5. J-MICC研究報告 (3論文)

◆西田 裕一郎 先生 (佐賀大学医学部 社会医学講座 予防医学分野)

The interaction between ABCA1 polymorphism and physical activity on the HDL-cholesterol levels in a Japanese population. J Lipid Res 2020

◆小山 晃英 先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科 地域保健医療疫学)

Effect of Underlying Cardiometabolic Diseases on the Association Between Sedentary Time and All-Cause Mortality in a Large Japanese Population: A Cohort Analysis Based on the J-MICC Study. JAHA 2021

◆永吉 真子 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学分野)

Sex-specific Relationship between Stress Coping Strategies and All-Cause Mortality: Japan Multi-Institutional Collaborative Cohort Study. JE 2021(in press)

## 6. 招待講演および解析例と担当研究者募集

### 招待講演

◆篠崎 智大 先生（東京理科大学工学部情報工学科）

：「がん遺伝疫学における因果媒介分析の可能性」

### 解析例と担当研究者募集

◆小柳 友理子 先生（愛知県がんセンター研究所 がん情報・対策研究分野）

：「媒介分析のがん疫学への応用：ALDH2 rs671の発がん効果の新たな知見及び今後の展望」

◆松尾 恵太郎 先生（愛知県がんセンター研究所 がん予防研究分野）

## 7. 閉会挨拶